

市町村名	金武町						
平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-①	金武地区公園整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ	
担当部署名	建設課	事業実施(予定)年度	平成28年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備		
事業内容	金武地区公園においては6歳児から12歳児用の遊具のみが設置されており、遊具を利用する対象年齢に制限があることから、それを解消するために低年齢層を対象とした遊具等を整備し、誘客を図り観光振興に寄与する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	
	(a) 当初予算額	97,082					
	(b) 予算現額	97,082					
	(c) 増減額 (b-a)	0					
	(d) 繰越額	0					
	A. 計 (b+d)	97,082					
	B. 執行済額	95,973					
	うち交付金充当額	76,777					
	次年度繰越額						
執行率 (%) (B/A)	98.9%						
予算の状況の説明	不用額1,109千円については入札残である。						
活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)	達成状況					
			28年度	29年度	30年度	31年度	
	1歳～3歳児用遊具 1式 3歳～6歳児用遊具 1式 ユニバーサルブランコ 1式	目標	(1式)	()	()	()	
		実績	1式				
		目標	()	()	()	()	
	実績						
達成状況説明	当初計画の3基の遊具等整備に加え、ターザンロープ1基、子どもトイレ1基、熱中症対策としてミストポール2基、アーチミスト1基を整備した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H28成果目標(指標)	基準値(年度)	28年度	29年度	30年度	目標値(年度)	
	遊具設置の完了	目標	()	(完了)	()	()	()
		実績		完了			
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	平成28年9月20日に当事業を発注し、平成29年3月24日に竣工し、芝の養生期間を置き、4月21日オープニングセレモニーを開催及び供用開始し、平日日中は、近隣の保育園児や、外国人が当公園を利用しており、週末になると町内外から沢山の家族が当公園を利用している。						

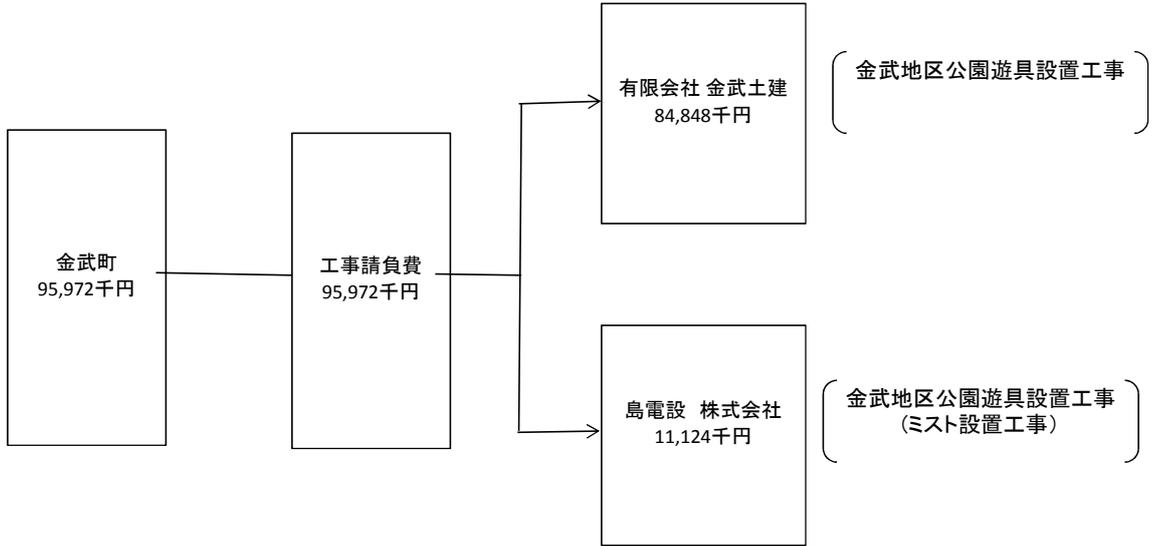
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>金武地区公園については、現在6歳児から12歳児用の遊具が設置されており、休日になると町内外から沢山の方々が本町を訪れ公園を利用しているが、その遊具は1歳から6歳児にとって高さがあり、危険であることから、その子供たちが遊ぶことのできる遊具は設置されていない状況である。</p> <p>工事中における既設遊具の利用制限について、利用者の安全性を鑑み、検討しなければならない。</p>	<p>本公園に新たな低年齢層の遊具を整備することで、子供や親にとって安全で安心な公園利用が可能となり、隣接する金武町陸上競技場と連携することで更なる観光振興が図られる。</p> <p>工事中における既設遊具の利用制限について、利用者の安全性を鑑み、使用禁止とする予定であったが、防護柵、注意喚起等看板を設置し、利用者が利用できるようにした。合わせて工事看板に整備予定の遊具の平面図を掲載し、周知を図った。</p>

今後の取り組み方針

今回の整備により、本町住民(町民)のみならず、外国の方々も来町し、当公園を利用している。オープン時にはセレモニーを実施し、その後は金武町ホームページやフェイスブック、金武広報でPRを図ってる。
 今後も引き続き、PRしていくと共に、健全な遊びの場を提供できるよう、適正な維持管理に努めていく。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
95,972	95,972	76,777	19,195	0



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○請負業者については、指名競争入札で選定しており、妥当だと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	金武町
------	-----

平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-②	パークゴルフ場整備事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	3-3-(2)
担当部署名	企画課	事業実施(予定)年度	平成28～平成30年度	観光受け入れ体制の整備
			沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1

事業内容	金武町にパークゴルフ場を整備し、誘客を図り観光振興に寄与する。
------	---------------------------------

実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()
------	---

		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況					
	(a) 当初予算額	5,000				
	(b) 予算現額	4,860				
	(c) 増減額 (b-a)	▲ 140				
	(d) 繰越額					
	A. 計 (b+d)	4,860				
	B. 執行済額	4,860				
	うち交付金充当額	3,888				
	次年度繰越額					
	執行率 (%) (B/A)	100.0%				
予算の状況の説明	当初の予定通り、パークゴルフ場整備の為の、整備箇所の選定、必用設備の検討、管理運営計画の策定等を行った。不用額の140千円に関しては、入札残である。					

活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)	達成状況			
		28年度	29年度	30年度	31年度
		基本計画策定	目標 (基本計画策定)	()	()
	実績	策定完了			
	目標	()	()	()	
	実績				
達成状況説明	金武町にパークゴルフ場を整備する為、整備箇所の選定や施設整備の基本的考え方、施設整備規模や導入設備の検討、管理運営計画等をまとめ、実施設計や施設整備完了後の運営方法の指針として、基本計画の策定を行った。				

成果目標(指標)及び進捗状況	H28成果目標(指標)	基準値(年度)	28年度	29年度	30年度	目標値(年度)	
	基本計画策定完了	目標	()	(基本計画策定)	()	()	()
		実績		策定完了			
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	整備箇所の選定や施設整備の基本的考え方、施設整備規模や導入設備の検討、管理運営計画等をまとめ、実施設計や施設整備完了後の運営方法の指針として、基本計画の策定を行った。平成29年度に策定した基本計画を基に実施設計を行う。						

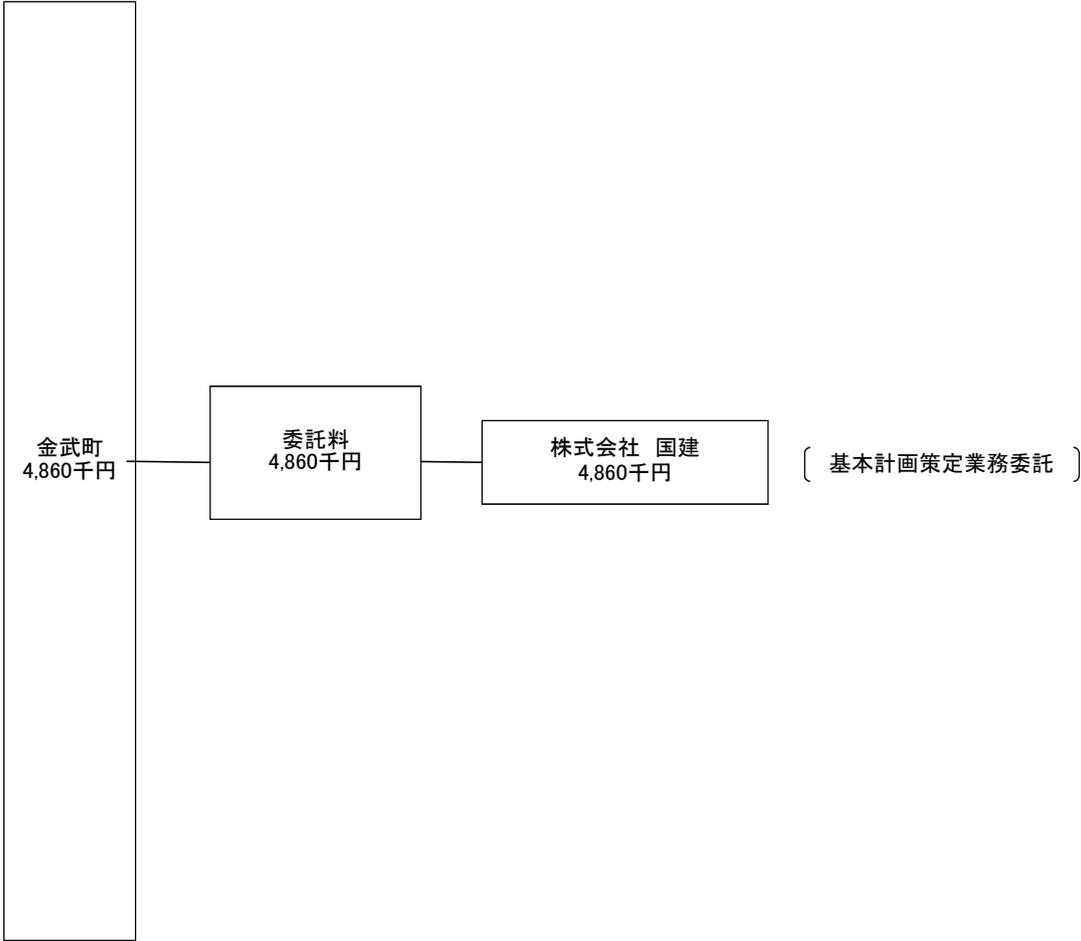
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>金武町のネイチャーみらい館は年間70,000人以上の県外観光客や県内施設利用者がおり、本町の観光拠点施設としての機能を担っている。また、現在開発中のギンバル訓練場跡地もホテル整備を進めており、今後この一帯は観光施設として更なる活性化が期待されるが、その周辺施設として野球場やフットボールセンターといった競技施設ではなく、多世代が楽しめるレクリエーション施設という位置づけでパークゴルフ場を整備することが大切だと考え、基本計画の策定に取り組んだ。</p>	<p>パークゴルフ場単独での運営ではなく、ネイチャーみらい館やギンバル訓練場跡地の施設と連携して、その周辺地域一帯での運営を考えて実施設計等を行っていく必要がある。</p>

今後の取り組み方針

平成28年度に策定した基本計画をもとに、周辺施設と連携しながら実施設計や整備完了後の運営方法等を引き続き検討していく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
4,860	4,860	3,888	972	0



資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に合った適正な規模となっているか。	○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、使途については整備規模、整備後の運営方法など、整備を検討、実施する為に必要なものであったと判断した。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	金武町
------	-----

平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-③ プロスポーツ受入事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ア 国際的な沖縄観光ブランドの確立
担当部署名	金武町教育委員会 社会教育課	事業実施(予定)年度 平成28~33年度	沖縄振興基本方針該当箇所 III-1

事業内容
本町に整備された金武町ベースボールスタジアムや金武町フットボールセンター等を活用し、プロスポーツチームや社会人チームのキャンプ等の受入れを実施している。長期の受入れを目指すため、競技環境の整備や受入れ体制の強化を図る。

実施方法
 直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況					
	(a) 当初予算額	6,998				
	(b) 予算現額	6,365				
	(c) 増減額 (b-a)	▲ 633				
	(d) 繰越額	—				
	A. 計 (b+d)	6,365				
	B. 執行済額	6,365				
	うち交付金充当額	5,091				
	次年度繰越額	—				
	執行率 (%) (B/A)	100.0%				
予算の状況の説明	プロチームを受入れるために必要な冬芝の導入や黒土補充によるグラウンド整備等の競技環境の整備、警備や清掃員、テントの設置等の受入体制の強化を図った。予算減については、グラウンドの状態が良く機械使用料が減額となったものです。また、テント設置委託についても、当初予定していたよりも低減できたための減額となっております。					

活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)	達成状況			
		28年度	29年度	30年度	31年度
		プロチームの受入	目標 (4チーム)	()	()
	実績	4チーム			
	プロチームの受入	目標 (2回)	()	()	()
	実績	2回			
達成状況説明	競技環境の整備、受入れ体制の強化を図ることで、継続したプロスポーツチームを受入れを目的とした事業であったが、継続する3チームの円滑な受入を実施するとともに、新規のチームを受入れることができた。また、プロ選手の指導のもと、少年野球教室、少年サッカー教室も開催し、子どもたちの夢を育むことができた。				

成果目標(指標)及び進捗状況	H28成果目標(指標)	基準値(年度)	28年度	29年度	30年度	目標値(年度)	
		プロチームの受入	目標 ()	(4チーム)	()	()	()
			実績		4チーム		
			目標 ()	()	()	()	()
			実績				
進捗状況説明	継続する3チームの円滑な受入を実施するとともに、新規のチームを受入れることができた。また、プロ選手の指導のもと、少年野球教室、少年サッカー教室も開催することができた。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>金武町では、現在、プロ野球チーム東北楽天ゴールデンイーグルスやプロサッカーチームコンサドーレ札幌の春季練習を受入れているが、今後も継続して本町の施設を利用してもらうために、黒土の補充や冬芝への更新等、グラウンドコンディションの充実など競技環境の整備を行った。また、新たに整備された金武町フットボールセンターにおいてもプロチームの受入れを目指しており、同様に競技環境の整備を図る。さらに、現在の受入れ体制は警備等も不足し、また、主要道路から離れていることもあり、春季練習を町外や県外から訪れる来場者に周知することが難しい状況である。そのため、駐車場等の警備を増員することで、スムーズな受入れを図り、歓迎ののぼり等を設置することで、誘客を図った。</p>	<p>これまでは、個人委託で芝管理を実施してきたが、陸上競技場及びベースボールスタジアムのほか、フットボールセンターも新たに整備されたため、個人委託による管理は困難である。そのため、専門的な知識を有した業者に管理を委託し、プロの求めるスポーツターフの管理を実施する必要がある。また、期間中には多くの来場者が訪れたが、施設内の案内看板等がなく、来場者の導線が分かりづらい部分があったため、改善を要する。</p>

今後の取り組み方針

今後もプロが利用できる競技環境整備に努めると同時に、多くの来場者が訪れ、楽しんでいただけるよう、警備や清掃に加え、会場案内板を設置する等の受入体制を強化する。また、プロの求めるスポーツターフを準備できるよう、年間を通じた芝管理を実施し、継続したプロの受入を図る。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
			市町村負担金		
	6,365	6,365	5,091	1,274	0

金武町 6,365千円	黒土 1,469千円	株式会社 ランドスケープ 1,469千円
	のぼり 252千円	株式会社 ジョイント沖縄 252千円
	芝管理肥料 1,680千円	東洋グリーン株式会社 1,680千円
	警備委託 571千円	合資会社全沖縄警備保障 571千円
	テント設置 756千円	有限会社砂辺テント 756千円
	清掃委託 555千円	あずまクリーンサービス 555千円
	車借上 445千円	株式会社 開成 445千円
	車借上 637千円	東洋グリーン株式会社 637千円

資金の流 れの点 検評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○請負業者は、業務実施にあたり円滑に行える業者を選定しており、町財務規則に基づいて実施しているため、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は事業内容に見合った適正な額と考えている。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものだった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	金武町						
平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-④ ICT観光地域づくり事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(2)-ウ			
担当部課名	産業振興課	事業実施(予定)年度	平成28年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備 Ⅲ-1		
事業内容	当事業は本町の歴史、文化、自然を礎とした観光資源の拠点となっている施設へ公衆無線LAN(Wi-Fi)設備を整備し、平成27年度整備した観光ポータルサイトと連携させることにより、町内店舗、名所、旧跡等への観光誘客と滞留を促進し、通過型から滞留型観光への波及効果による地域活性化を図る。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		22,400				
			22,400				
			0				
			—				
		22,400					
	B. 執行済額	22,140					
	うち交付金充当額	17,712					
	次年度繰越額	—					
	執行率(%) (B/A)	98.8%					
予算の状況の説明	当初の計画通り8箇所の拠点を整備することができ、適正な予算執行だと考える。不要額については、入札執行残である。						
活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)	達成状況					
		28年度	29年度	30年度	31年度		
	公衆無線LAN(Wi-Fi)整備の構築	目標 (整備構築)					
	実績	整備完了					
達成状況説明	金武町を訪れる観光客向上、町内店舗、名所、旧跡等への観光誘客と滞留を促進し、通過型から滞留型観光への波及効果による地域活性化を図る為、観光Wi-Fi整備を行った。 整備拠点(①新開地、②ベースボールスタジアム、③フットボールセンター)						
成果目標(指標)及び進捗状況	H28成果目標(指標)	基準値(年度)	28年度	29年度	30年度	目標値(年度)	
		目標 ()	(8箇所)				
	町内公共施設に公衆無線(Wi-Fi)をアクセスポイントを8箇所設置する。	実績	8箇所				
進捗状況説明	金武町を訪れる観光客等が観光案内、公共施設、町内店舗、名所等の情報収集が行なえるよう観光Wi-Fi整備を行った。 整備拠点(①新開地1箇所②ベースボールスタジアム3箇所③フットボールセンター4箇所)						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	本町では、海外移民の輩出をバックボーンにした国際交流事業、米軍基地の門前街の環境整備、一年をとおして穏やかな金武湾や豊かな自然を生かした体験観光拠点整備やイベント等を実施してきた。今後、こうしたイベントを盛り上げていくとともに、更なる観光客誘客と通過型の観光スタイルからの脱却を図る必要がある。公衆無線LAN(Wi-Fi)設備を整備することで、観光客の滞留を促すとともに、行動導線を分析することで、今後の観光対策に活用できる。	当該事業エリアにおける公衆無線(Wi-Fi)の利用を通し、平成27年度整備した観光ポータルサイトと連携させることにより、町内店舗、名所、旧跡等への観光誘客と滞留を促進し、通過型から滞留型観光への波及効果による地域活性化を図る。
	今後の取り組み方針	
公衆無線LAN(Wi-Fi)を設置したエリア、イベント、店舗への入域数の増を目指す。また、観光客の行動導線を分析し、新たな観光施設等の整備についても意欲的に検討する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
	22,140	22,140	17,712	4,428	0
<pre> graph LR A[金武町 22,140千円] --> B[工事請負費 22,140千円] B --> C[西日本電信電話株式会社 沖縄支店 22,140千円] </pre>					

資金の流れ、費目・用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○プロポーザルを実施し業者を選定しており、妥当であったと考える。 ○建設物価、積算資料、見積書等により、設計書を作成し、事業費を算出しており、事業内容に見合った規模なため適正であったと考える。 ○事業完了後に検査・検収を行い、適正に実行されていることを確認している。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		金武町					
平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑤	温泉施設整備導入事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所 第三章-3-(2)-ウ 観光客の受入体制の準備				
担当部署名	基地跡地推進課	事業実施(予定)年度 平成28年度	沖縄振興基本方針該当箇所 III-1				
事業内容	平成23年7月に返還されたギンバル訓練場跡地計画の1つとして、癒しの場となる温泉施設整備を推進し、地域住民や観光客の誘客を目指す。当該地域で平成26年度に温泉掘削事業を実施しており、その温泉資源を有効活用するため、民間活力の導入を推進していく。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	5,000				
		(b) 予算現額	5,000				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 繰越額					
	A. 計 (b+d)		5,000				
	B. 執行済額		4,536				
	うち交付金充当額		3,628				
	次年度繰越額		-				
	執行率 (%) (B/A)		90.7%				
予算の状況の説明		事業計画どおりに執行を行った。不用額は委託業務の入札残である。					
活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)		達成状況				
			28年度	29年度	30年度	31年度	
	公募資料作成支援	目標	(一式)	()	()	()	
		実績	一式				
	優先交渉権者選定支援	目標	(一式)	()	()	()	
		実績	一式				
達成状況説明	公募資料作成支援については、温泉事業者を募集するにあたり、町が事業者に要求する要件等について整理・検討し、募集要項、提出様式、添付資料等を作成する事ができた。 優先交渉権者選定支援については、選定委員会を運営し、公募期間中の質問対応や応募者参加資格要件の確認、審査項目とその配点等について検討を行い、適切な選定に係る支援を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H28成果目標(指標)		基準値(年度)	28年度	29年度	30年度	目標値(年度)
	優先交渉権者及び次点交渉権者の決定	目標	()	(100%)	()	()	()
		実績		72%			
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	今回実施した公募に2社から応募があったが、審査を行った結果、公募条件を満たさなかったため、優先交渉権者は該当なしであった。今回選定には至らなかったが、業務成果として募集要項や、公募や審査の手法を得る事ができたため、再度公募を実施し、優先交渉権者の決定に向けて取り組んでいく。					

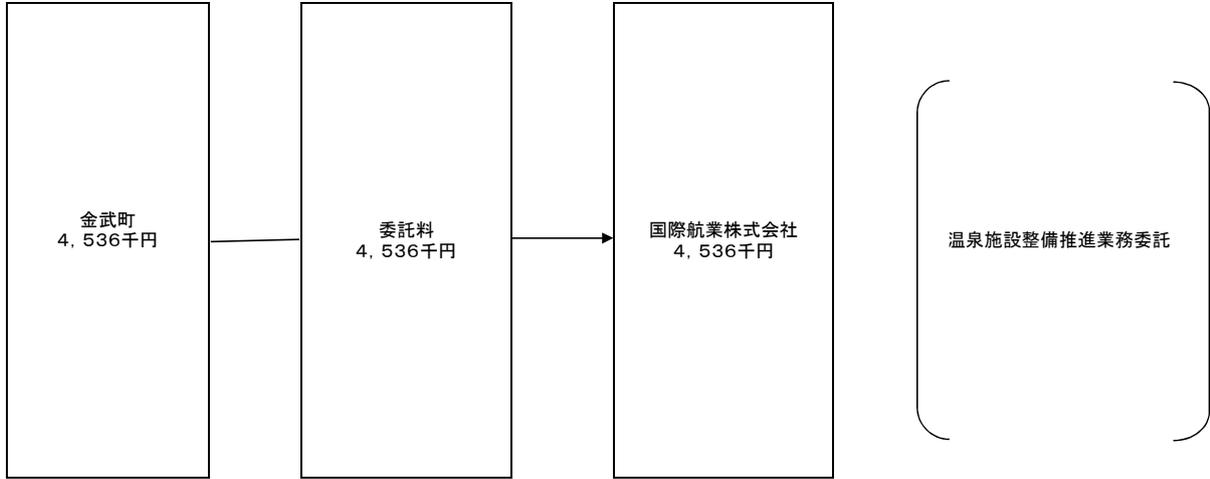
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>温泉施設整備運営者の公募を実施した結果、2社の応募があったが、選定までは至らなかった。</p> <p>今回、公募方法として、ホームページでの公表を行ったが、多くの事業者に知られていなかった可能性がある。また、公募期間について、平成26年度に湧出した温泉資源を早期活用する事を目的として設定したが、応募期限に合わず断念する業者も1社あった事から、公募期間についても見直す必要がある。</p>	<p>次回再公募にあたって、公募期間を約半年程度確保しながら、町としての周知活動を行っていく。具体的には、当該事業地周辺の施設整備状況や利用状況をまとめたパンフレットを作成し、多くの事業者に対して郵送及び訪問などの活動を行い、周知を図る。</p>

今後の取り組み方針

再公募を実施しながら同時に周知活動を強化する事で、多くの事業者を募り、平成29年度内で適切な温泉施設運営事業者の選定を目指す。事業者決定後には癒しの場として温泉施設整備を推進し、地域住民や観光客の誘客を図る。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
4,536	4,536	3,628	908	0



資金の流 れ、費 目・ 使 途 の 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は競争入札で選定されており、妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、業務量から算出しており適切であった。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使については、精算で検査を実施し、目的に即し必要なものであった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	金武町
------	-----

平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	2-① 金武町優良繁殖雌牛導入事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-ア
担当部署名	産業振興課	事業実施(予定)年度	平成27~31年度
		沖縄振興基本方針該当箇所	III-1-(6)

事業内容	安定した素牛生産地の確立のため、優良繁殖雌牛の導入を支援する。
------	---------------------------------

実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()
------	---

		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	(a) 当初予算額	6,000	6,000			
	(b) 予算現額	5,787	5,789			
	(c) 増減額 (b-a)	▲ 213	▲ 211			
	(d) 繰越額	—				
	A. 計 (b+d)	5,787	5,789			
	B. 執行済額	5,788	5,789			
	うち交付金充当額	4,630	4,631			
	次年度繰越額	—	—			
	執行率 (%) (B/A)	100.0%	100.0%			
	予算の状況の説明	当初、優良繁殖雌牛導入支援の最大額6,000千円(最大補助額500千円×12頭分)で予算を計上し、平成28年度の導入頭数14頭に対して実績額が5,789千円となったため、予算減となった。				

活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)	達成状況			
		27年度	28年度	29年度	30年度
優良繁殖雌牛の導入支援	目標	(優良繁殖雌牛の導入支援)	(優良繁殖雌牛の導入支援)	()	()
	実績	優良繁殖雌牛の導入支援実施	優良繁殖雌牛の導入支援実施		
	目標	()	()	()	()
	実績				
達成状況説明	県内外の家畜セリ市場より優良繁殖雌牛の導入を実施し、当初目標通り達成できた。				

成果目標(指標)及び進捗状況	H28成果目標(指標)	基準値(年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(年度)	
		優良繁殖雌牛導入頭数(12頭)	目標	()	(12頭)	(12頭)	()
	実績			16頭	14頭		
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
実績							
進捗状況説明	成果目標の12頭に対して牛の値段や生産基盤の拡充に意欲のある農家との調整の結果、14頭を導入することができた。今後も導入補助を行い、繁殖生産基盤の拡充、強化を図っていく。						

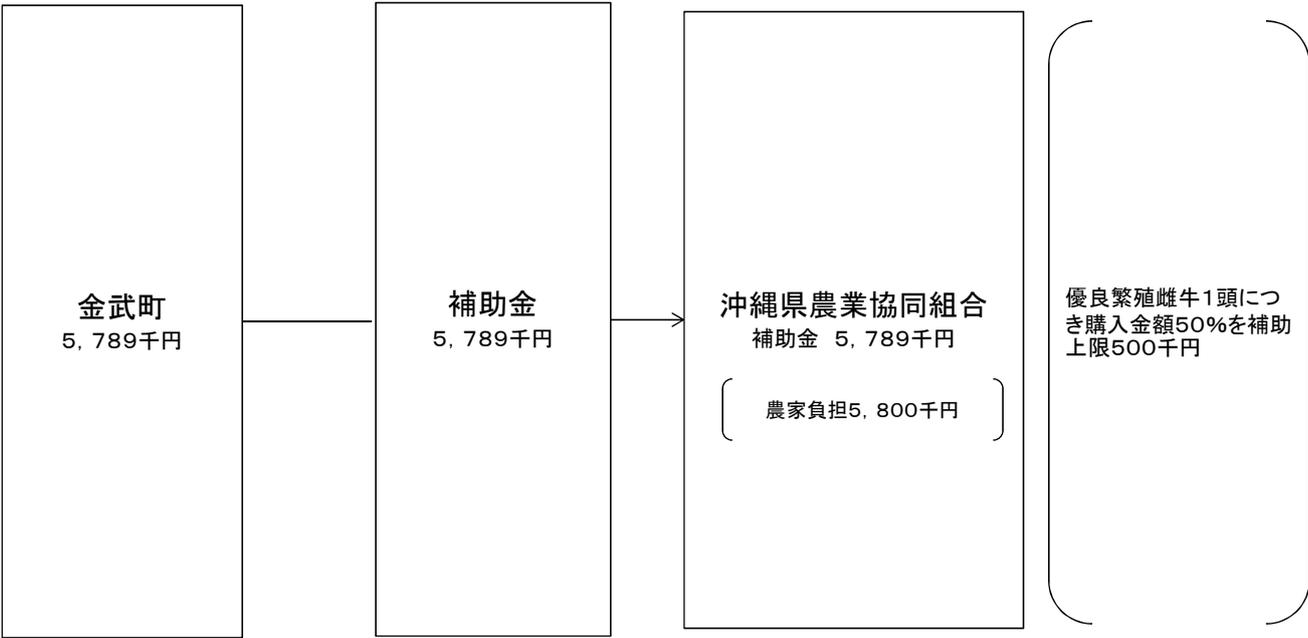
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	県内外からの優良繁殖雌牛を導入する際に、暑い時期に購入すると、遠く離れた場所からの輸送途中で熱中症による事故死が考えられるため、早めの事業開始を行うために関係機関と連携しスムーズな事務手続きを行い事業実施を行った。	不慣れな事務手続きのため暑い時期に事業を開始した昨年度の反省を活かし、各関係機関と連携を行いスムーズな事務手続きができることによって、5月からの事業実施が行えた。

今後の取り組み方針

早めの事業開始に向けてさらなる円滑な事務手続きを行い、和牛改良組合、農業協同組合、関係機関と連携して優良繁殖雌牛を導入し、繁殖生産基盤の拡充、強化を図っていく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
11,589	5,789	4,631	1,158	5,800



資金の流 れ、費 目・ 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○事業主体は、本事業の交付対象要件を満たす団体であり、選定は妥当であると考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○事業実績や成果目標指数の達成状況を含め、適当な予算規模であったと考えている。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者の負担は適当な額を負担している。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、使途について、補助金交付要綱に基づいて確認した結果、適正であった。

市町村名	金武町						
平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-① 金武町就職活動支援補助事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(10)-ア		
担当部署名	産業振興課	事業実施(予定)年度	平成27~31年度	沖縄振興基本方針該当箇所	雇用機会の創出・拡大と求職者支援		
事業内容	雇用の拡大を図るために就活支援センターを設置し、求職者への相談員による就業相談や、中小企業等に対する各種支援制度の案内、求人・求職等の情報提供を行う。 また、将来の就労予定者である児童生徒に勤労観・職業観と、学校をはじめとする地域全体との連携を図りながら、雇用問題の解決や就業意識の向上を実施するための、キャリア教育を行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	35,586	39,670			
		(b) 予算現額	24,456	39,670			
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 11,130	0			
		(d) 繰越額	—	—			
		A. 計 (b+d)	24,456	39,670			
	B. 執行済額		22,778	29,572			
	うち交付金充当額		18,222	23,657			
	次年度繰越額		—	—			
	執行率 (%) (B/A)		93.1%	74.5%			
予算の状況の説明		減額理由として、主に人件費について事務推進員1名が欠員のため、12ヶ月分の余剰となった。					
活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)		達成状況				
			27年度	28年度	29年度	30年度	
	キャリア教育 4校	目標	(1校)	(4校)	()	()	
		実績	2校	5校			
	各種講座の開催 4講座 企業セミナー 6回	目標	(1回)	(10回)	()	()	
		実績	7回	10回			
	職業相談	目標	()	(実施)	()	()	
実績			実施:287名				
達成状況説明	相談員による職業相談や各種講座の開催、中小企業等に対する企業セミナー等の実施、求人・求職等の情報提供と児童生徒へのキャリア教育等により、目標を達成することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H28成果目標(指標)		基準値(年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(年度)
	就業者目標数	目標	()	(10名)	(10名)	()	()
		実績		20名	39名		
	進捗状況説明	町民の雇用の場の確保、企業側と求職者の雇用のミスマッチの解消等により、雇用拡大の促進に繋がり、目標より大幅に達成することができた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>本町は、町土の約60%を米軍基地に占められ、大規模な企業も立地していない状況である。平成22年度国勢調査においては、完全失業率が11.7%となっている。このような状況のなか、平成26年度7月より金武町雇用対策事業検討委員会を設置し、町民の雇用拡大と人材育成を目的に雇用促進対策を行っているところである。</p> <p>平成27年度より金武町就活支援センターを設置し、町民の雇用拡大とともに児童生徒等を含めた人材育成を行う必要がある。</p>	<p>各種研修、キャリア教育等様々な事業を推進し、大きな実績となった。今後金武町就活支援センターの周知を徹底し、金武町就活支援センター利用率及び利用者の採用率の向上に努める。</p>

今後の取り組み方針
<p>雇用の場の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町や関係機関の事業導入にあたっては、町民の雇用の場の創出に努める。また、関係機関や町内事業者などへの町民の優先雇用の促進を図る。 <p>技能・資格取得の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就職に必要な資格取得のための各種講座を開催し、町民一人ひとりの技術や資格の取得を支援し、雇用機会の増大を図る。 <p>相談窓口の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金武町就活支援センターにおいて、就職相談を実施し、求人情報の公開並びに職業斡旋を行うとともに、求職者と企業とのマッチングを図る求職者登録システムの構築や緊急的な失業者の雇用対策の連携など、相談窓口の充実を図る。 <p>中長期的な雇用対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町民一人ひとりの心豊かな生活の確保に向けて、キャリア教育や就労に必要な意識啓発、知識・技能を取得するための一貫した体制の構築と支援に努める。 ・ギンバル訓練場跡地周辺における新規事業機会の拡大や若者の雇用促進など、地域活性化の実現を図る。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
29,572	29,572	23,657	5,915	0



資金の流 れ、費目 の点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○補助金等の適正化に関する条例及び団体補助金交付規則に基づき適正に支出した。</p> <p>○年度当初から1名推進員の確保ができず、不用額が発生したが、予算規模は適正と判断している。</p> <p>○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものかどうかを事業途中や事業完了の際に、その都度運営者との間で協議し、適正であると判断している。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	金武町						
平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-② 金武町雇用対策事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(10)-ア		
担当部課名	産業振興課	事業実施(予定)年度	平成25~29年度	沖縄振興基本方針該当箇所	雇用機会の創出・拡大と求職者支援 III-2		
事業内容	ギンバル訓練場跡地利用の進出企業への雇用を促進するため、進出企業が町民を雇用した場合の研修費用等を支援する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位:千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
	予算状況	(a) 当初予算額	10,000	10,587	13,228	8,148	
		(b) 予算現額	10,000	10,587	13,852	3,788	
		(c) 増減額 (b-a)	0	0	624	▲ 4,360	
		(d) 繰越額	-	-	-	-	
	A. 計 (b+d)		10,000	10,587	13,852	3,788	
	B. 執行済額		5244	5,370	12,158	2,206	
	うち交付金充当額		4195	4,296	9,725	1,764	
	次年度繰越額		-	-	-	-	
	執行率 (%) (B/A)		52.4%	50.7%	87.8%	58.2%	
予算状況の説明		予算減額及び不用額については、企業において随時求職者の募集を行っていたが、採用に結びつかず人数の確保ができない状況にあった。 成果目標に関しては継続雇用されているため、達成できたと考えている。					
活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	進出企業等が採用した研修者OJT実施を支援に対する研修費等の支援 研修者数4人	目標	(5人)	(5人)	(5人)	(4人)	
		実績	5人	5人	7人	2人	
			目標	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	ギンバル訓練場跡地利用に係る進出企業で採用した職員が必要な研修を受講することにより、業務で必要な知識、技術を身につけることができた。 実績の減少分について、当初計画では4名の採用計画であったが就職希望、申込者が少なく、予定より2名の減少となった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H28成果目標(指標)		基準値(年度)	26年度	27年度	28年度	目標値(年度)
	平成28年研修者定着率:100% (研修後の継続雇用)	目標	()	(5人)	(7人)	(100%)	()
		実績		5人	7人	100%	
			目標	()	()	()	()
			実績				
進捗状況説明	平成28年度において雇用した2名の町民については、当該事業において雇用を委託し、企業側が独自に継続雇用ができるように雇用研修を行ったことにより、平成29年度についても継続して雇用されているため、成果目標は達成できたと考えている。						

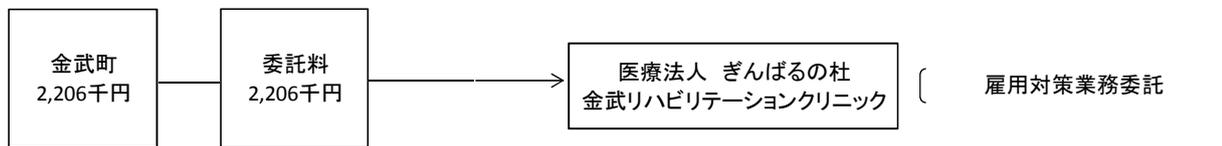
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>本町は、町土の面積の約60%を米軍基地に占められ、大規模な企業も立地しておらず、完全失業率が11.7%(平成22年国勢調査産業等基本集計結果)となっている。</p> <p>このような状況のなか、平成23年度に返還されたギンバル訓練場跡地において、地域医療施設、ヘルスケアセンター、フィッティングセンター、海洋療法児童リハビリセンターの整備や、ホテル誘致を進め、新規雇用の創出を図っているところである。</p> <p>そのため、ギンバル訓練場跡地への進出企業において、就業希望者の雇用を促進し、町民の雇用機会を拡大する必要があるため、町民を雇用した企業に対し、研修費等の支援をした。</p>	<p>年度当初から計画どおりの雇用人数確保ができていない為、求人方法について、ハローワークと併せて町内有線放送、広報金武等の活用等を行い、早期に採用者が確保ができるよう検討を行う。</p> <p>今後の、ギンバル訓練場跡地の事業計画、進出企業の紹介等を町民に対して周知し、地元就職意欲を高める。</p>

今後の取り組み方針

今後も引き続きギンバル訓練場跡地への進出企業において、町民の雇用機会の創出を図るとともに、継続雇用に繋げていく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
2,206	2,206	1,764	442	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○ギンバル訓練場跡地への進出企業においての町民の新規雇用の創出を図ることが目的であるため、契約方法は地方自治法施行令第167条の2第1項第6号に基づき締結し、妥当と考える。</p> <p>○年度当初から人材確保が出来ず、不用額が発生したが、予算規模は適正と判断している。</p> <p>○費目・使途については、事業目的達成の観点から必要なものなのかどうかを事業途中や事業完了の際に、その都度委託者との間で協議しており、適正であると判断している。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

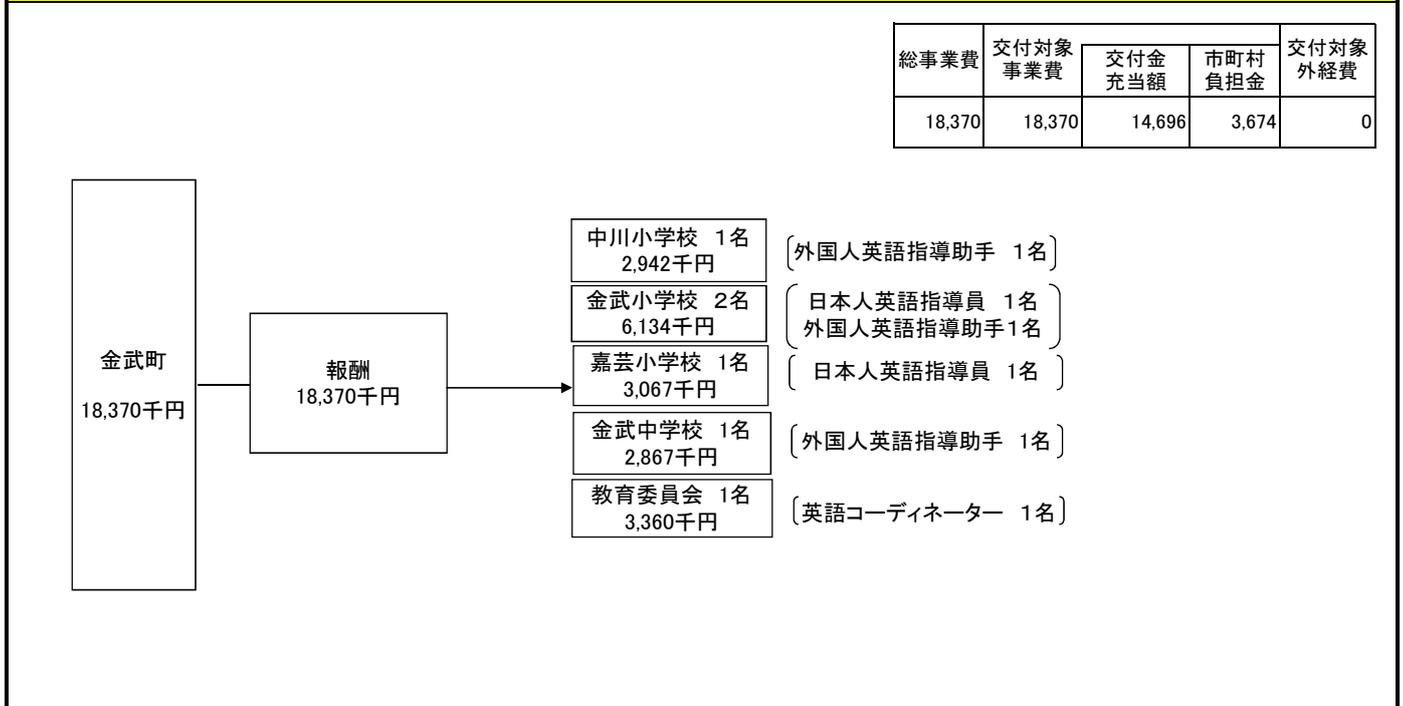
市町村名		金武町					
平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-① 小中学校学習等支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-ウ		
担当部課名	学校教育課	事業実施（予定）年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際社会、情報社会に対応した教育の推進		
事業内容	英語教育について、外国人英語指導助手・日本人英語指導員・英語コーディネーターを配置し、外国語の音声や基本的な表現能力の育成として英語教育の充実を図る。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額 (b-a) (d) 繰越額 A. 計 (b+d)		32,278	29,161	29,755	36,785	18,760
			31,013	27,553	29,755	34,422	18,760
			▲ 1,265	▲ 1,608	0	▲ 2,363	0
			—	—	—	—	—
	B. 執行済額		19,552	23,296	23,159	33,678	18,370
	うち交付金充当額		15,641	18,636	18,527	26,942	14,696
	次年度繰越額		—	—	—	—	—
	執行率（％）(B/A)		63.0%	84.5%	77.8%	97.8%	97.9%
	予算の状況の説明		不用額については、外国人英語指導助手1名の退職による減額分と、欠勤による減額分が主なものである。配置については全て実施した。				
活動目標（指標）及び達成状況	H28活動目標（指標）		達成状況				
			27年度	28年度	29年度	30年度	
	日本人英語指導員配置数：小学校2人	目標	（小学校：2人）	（小学校：2人）			
		実績	小学校：2人	小学校：2人			
	外国人英語指導助手配置数：小学校2人 中学校1人	目標	（小学校：2人） （中学校：1人）	（小学校：2人） （中学校：1人）			
		実績	小学校：2人 中学校：1人	小学校：2人 中学校：1人			
英語コーディネーター配置数：教育委員会1人	目標	（教育委員会：1人）	（教育委員会：1人）				
	実績	教育委員会：1人	教育委員会：1人				
達成状況説明	町内小中学校に日本人英語指導員2人、外国人英語指導助手3人、英語コーディネーターを1人、合計6人を配置し、外国語の音声や基本的な表現能力の育成として英語教育の充実を図ることができた。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H28成果目標（指標）		28年度	29年度	30年度	31年度	目標値（年度）
	（小学校） 児童英検において、平均正答率が全国平均との差5%以内。 グレード：ブロンズ	目標	（全国平均との差5%以内）				
		実績	4.2%上回っている。				
	（中学校） ・英検3級について、校内受験者数に対し合格率20%。	目標	（20%）				
実績		21.1%					
進捗状況説明	小学校1年生からの「外国語活動」を設置し、英語及び異文化への興味関心・理解を深めることが出来た。中学校卒業までには簡単な英会話のできる児童生徒を育成するため、小・中学校が連携した学習を推進していく。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	英語教育の中心となるカリキュラム作成や交流学習等、多様な英語学習の工夫改善。	英語コーディネータを中心に、小中連携した系統的な英語教育の具体的な取組を話し合い、より効果的な英語学習を展開していく。 日本人英語指導員及び外国人指導助手と学級担任とのTTIによる英語の授業を通して、英語でコミュニケーションを図ろうとする態度や興味関心を高め、国際性に富んだ児童生徒の育成を図る。

今後の取り組み方針

今後も継続して日本人英語指導員、外国人英語指導助手、英語コーディネーターを配置し、小中学校が連携した系統的・段階的な英語学習を推進し、本町の掲げる「国際性に富んだ人材育成」を図っていく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の用途の流れ、費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○出先、費目・用途については、金武町特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例等に基づき支援員の任用、報酬の支出をしており、妥当なものと考えている。 ○予算規模については、ほぼ見込みどおりの執行額であり、事業内容に見合った適正な規模である。 ○費目、用途については目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		金武町					
平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-② 幼稚園預かり保育事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(1)-ア		
担当部課名	学校教育課	事業実施(予定)年度	平成24~33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	地域を大切に、誇りに思う健全な青少年の育成 Ⅲ-3	
事業内容	子育て環境を改善するために、嘱託職員を配置し、預かり保育の充実を図る。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額 (b-a) (d) 繰越額 A. 計 (b+d)		5,976	5,806	5,767	6,008	6,008
			5,976	5,806	5,767	3,925	3,925
			0	0	0	▲ 2,083	▲ 2,083
			-	-	-	-	-
			5,976	5,806	5,767	3,925	3,925
	B. 執行済額		5,969	3,545	3,721	3,925	3,925
	うち交付金充当額		3,216	2,835	2,977	3,140	3,140
	次年度繰越額		-	-	-	-	-
	執行率(%) (B/A)		99.9%	61.1%	64.5%	100.0%	100.0%
予算の状況の説明		預かり保育を利用する園児が当初予定していた人数を上回らなかったため、預かり保育嘱託員の配置が3名体制から2名体制となったため予算を減額し、変更後のとおり予算執行した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	預かり保育実施幼稚園	目標	(1園)	(1園)	(1園)	(1園)	
		実績	1園	1園	1園	1園	
	預かり保育支援員	目標	(3人)	(3人)	(2人)	(3人)	
実績		2人	2人	2人	2人		
達成状況説明	預かり保育については、1クラス25名定員としており、利用者は47名(一時預かり3名含む)で2クラス編成となったため、預かり保育嘱託員を2名配置した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H28成果目標(指標)		基準値(年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(年度)
	子育て環境における満足度90%	目標	()	(90%以上)	(90%)	()	()
		実績		99%	86%		
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	預かり保育を希望する園児を100%受け入れすることができた。 預かり保育嘱託員の配置により、午前の園児の様子や活動内容を午後の預かり保育へつなぎ、一日の園児の様子を把握することで、一人ひとりの状況に応じた、よりきめ細やかな充実した預かり保育が実施できた。						

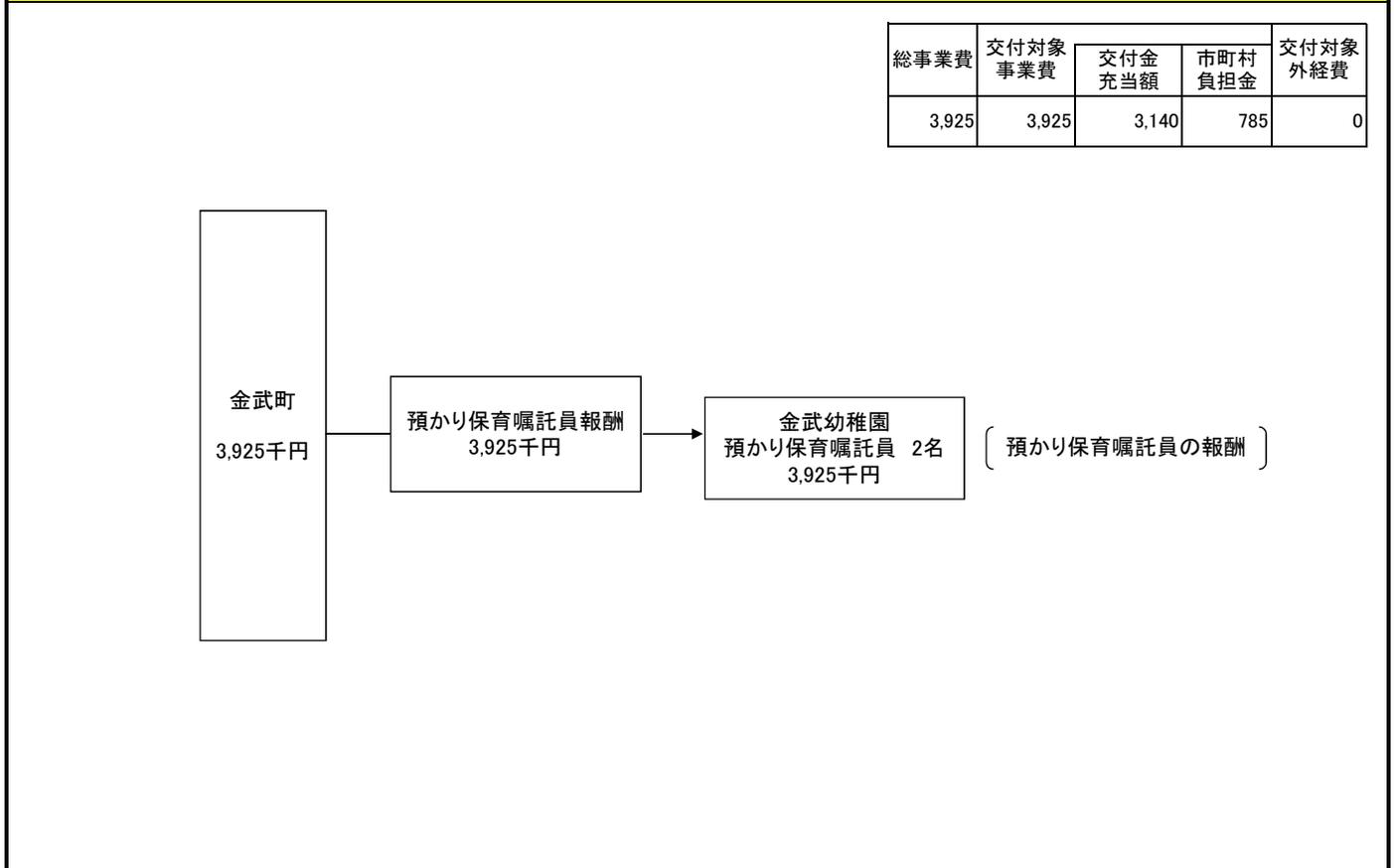
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	午前中から預かり保育嘱託員を配置することにより、午前の教育課程から午後の預かり保育へ園児の活動情報などを引き継ぐことができるようになった。	学級担任と連携を図りながら、園児の状況を把握し、午前の園活動、園児の状況等を十分に情報共有しながら、預かり保育を行う。
	預かり保育嘱託員の配置については、幼稚園免許保持者を優先的に採用しているため、毎年人材の確保に苦慮している。	各園の担任と声かけ等連携を図りながら、募集広告の時期を早めるなどして人材確保に努める。

今後の取り組み方針

今後も継続して預かり保育嘱託員を配置し、午前の教育課程から午後の預かり保育へ、園児の一日の園活動、園児の状況等を引き継ぎ、きめ細やかな預かり保育を実施させる。

預かり保育嘱託員の人材確保については、今年度同様早い時期から募集をかけ、学校等との連携を図りより良い人材確保に努めていく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、費目 の点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先、費目・使途については、金武町特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例等に基づき、預かり保育嘱託員の任用、報酬の支出をしており、妥当なものと考えている。 ○予算規模においては、当初より1名少ない配置であったが、預かり保育を希望する園児数から鑑みて、事業内容に見合った適正な規模である。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名 金武町

平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名 4-③ 特別支援教育支援事業
沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所 第3章-5-(3)-ウ
時代に対応する魅力ある学校づくりの推進
担当部課名 学校教育課
事業実施(予定)年度 平成24~33年度
沖縄振興基本方針該当箇所 III-3

事業内容 発達障害等を持つ幼児・児童・生徒の教育については、ノーマライゼーションの理念に基づき、学習生活・学校生活等における困難を改善又は克服するために、適切な指導及び支援を行う。

実施方法 ■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他()

Table with columns for years (24年度 to 28年度) and rows for budget status (予算の状況) and execution status (執行額). Includes rows for (a)当初予算額, (b)予算現額, (c)増減額, (d)繰越額, A.計(b+d), B.執行済額, うち交付金充当額, 次年度繰越額, 執行率(%)(B/A).

Table for activity goals (活動目標) and achievement status (達成状況). Includes H27 activity goals (H27活動目標) and achievement status (達成状況) with columns for years 25, 26, 27, 28 and rows for target (目標) and actual (実績).

Table for achievement goals (成果目標) and progress status (進捗状況). Includes H28 achievement goals (H28成果目標) and progress status (進捗状況) with columns for years 25, 26, 27, 28 and rows for target (目標) and actual (実績).

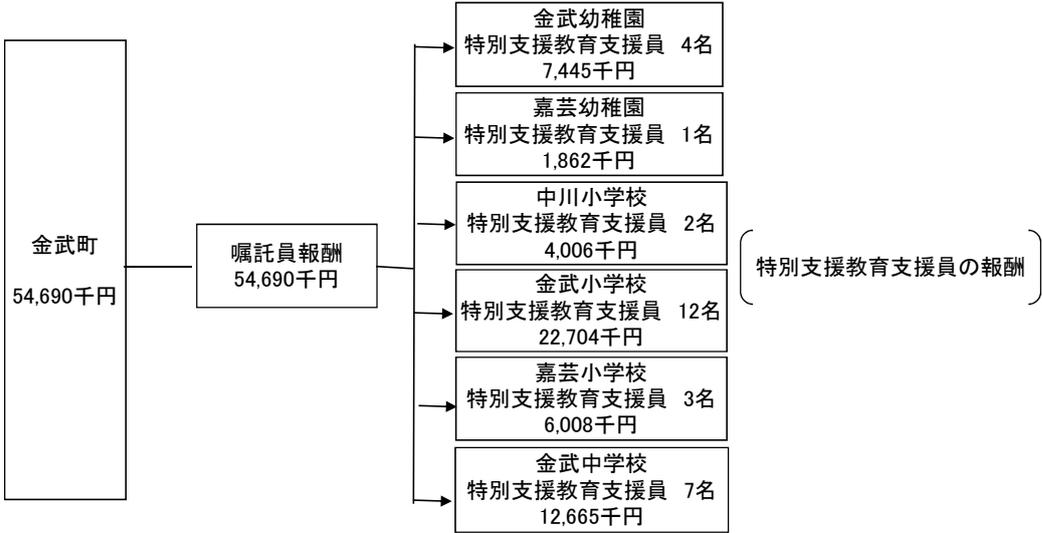
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	支援を要する幼児児童生徒は、年々増加傾向にあり、担任だけでは支援が難しい状況である。また、障がいを持つ幼児児童生徒の実態も多様化しており、知的障害、自閉症・情緒障害等、個々の障がいの状態に応じた支援が必要となってきた。	支援を必要とする幼児児童生徒一人ひとりにあった支援体制を構築していくため、学級担任や養護教諭をはじめ専門的知識を持った特別支援教育推進員との連携を深め、適正な支援を行っていく。 特別支援教育に係る研修等を実施し、支援員のさらなる資質向上を図っていく。

今後の取り組み方針

支援を要する幼児児童生徒の実態が多様化していることなどから、幼児児童生徒に対する安全確保や学習の確保が求められており、学校等と連携しその実態把握を行い、適正な支援員配置を行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
54,690	54,690	43,752	10,938	0



資金の 用途の 流れ、 費目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先、費目・使途については、金武町特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例等に基づき支援員の任用、報酬の支出をしており、妥当なものと考えている。 ○予算規模においては、事業内容見合った適正な規模である。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものだった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	金武町
------	-----

平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	4-④	ICT教育備品整備事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-ア
担当部課名	学校教育課	事業実施(予定)年度	平成25~29年度	国際社会、情報社会に対応した教育の推進
			沖縄振興基本方針該当箇所	III-3

事業内容
児童・生徒への情報教育推進のためにIT教室へパソコンを導入し、各教室へ電子黒板等を整備することにより、情報教育による学力向上を推進する。

実施方法
 直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	(a) 当初予算額	5,556	21,864	23,637	26,488	
	(b) 予算現額	5,556	21,864	19,179	26,488	
	(c) 増減額 (b-a)	0	0	▲ 4,458	0	
	(d) 繰越額					
	A. 計 (b+d)	5,556	21,864	19,179	26,488	
	B. 執行済額	3,854	20,316	19,179	25,434	
	うち交付金充当額	3,082	15,830	15,330	20,006	
	次年度繰越額					
執行率 (%) (B/A)	69.4%	92.9%	100.0%	96.0%		
予算の状況の説明	当初計画していたとおり事業を適正に実施できたと考えている。不用額については入札残によるものである。					

活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)	達成状況			
		25年度	26年度	27年度	28年度
IT教室にパソコン及び教育用ソフトウェアを整備する。小学校1校	目標	()	(小学校1校:12台 中学校1校:40台)	(31台)	(36台)
	実績		小学校1校:12台 中学校1校:40台	31台	36台
教室に電子黒板、電子黒板用パソコン及び書画カメラを整備する。	目標	(4台)	()	(5台)	(5台)
	実績	3台		5台	5台
達成状況説明	IT教室にパソコン36台及び教育用ソフトウェアを整備した。(小学校1校)教室に電子黒板、電子黒板用パソコン及び書画カメラを整備した。(小学校2校:電子黒板3台、パソコン3台、書画カメラ3台 中学校1校:電子黒板2台、パソコン2台、書画カメラ2台)				

成果目標(指標)及び進捗状況	H28成果目標(指標)	基準値(年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(年度)	
		学校評価における児童生徒の評価で。授業の楽しさや分かりやすさについての評価項目で「評価3以上」(4段階評価)	目標	()	(3)	(3)	()
		実績		3.2	3.3		
		目標	()	()	()	()	()
進捗状況説明	IT教室に児童生徒1人1台のパソコンを利用できるよう必要台数を整備することにより、個々の学習進度や得意不得意等に応じた学習を行うことができるなど、情報教育を推進するための環境整備が図られた。						

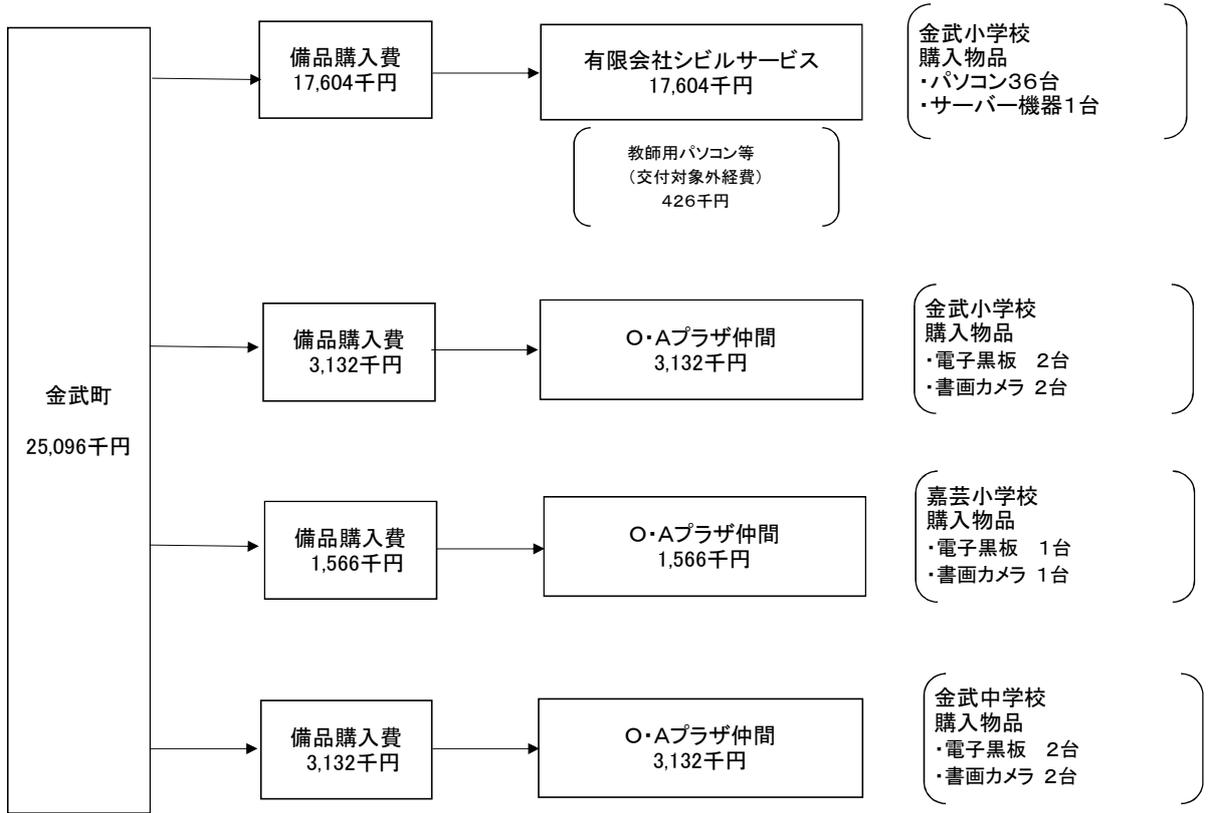
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>1人1台のパソコンと合せて、授業において教員が各児童生徒の活動を把握したり、必要に応じて画面共有・転送ができるよう授業支援システム整備したことにより、授業展開がスムーズに行なえ、授業内容の充実につながった。</p> <p>学習支援ソフトについて、必要に応じて追加整備も今後視野に入れる。</p>	<p>学習支援ソフトの追加整備を行う際は、学習活動に必要な機能を備えているかなど、内容を十分精査する必要がある。</p>

今後の取り組み方針

今後学校に必要な備品については、金武町立学校ICT環境整備計画書に基づくとともに、学校と十分に協議してニーズに見合うものを整備していく。電子黒板において活用できるデジタル教科書を整備する

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
25,434	25,096	20,076	5,020	338



資金の流れ、評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○購入業者は、指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額は、事業費の5%以内であり適正な規模であった。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については、事業目的に即し必要なものであったと判断した。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	金武町
------	-----

平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	4-⑤	デジタル教科書購入事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-ア
担当部署名	学校教育課	事業実施(予定)年度	平成28~33年度	国際社会、情報社会に対応した教育の推進
			沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3-(1)

事業内容 平成28年度の中学校教科書改訂に伴い、学習環境を整備する必要があることから、デジタル教科書を購入し生徒の学習意欲の向上を図る。

実施方法 直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況					
	(a) 当初予算額	2,007				
	(b) 予算現額	2,002				
	(c) 増減額 (b-a)	▲ 5				
	(d) 繰越額					
	A. 計 (b+d)	2,002				
	B. 執行済額	1,946				
	うち交付金充当額	1,558				
	次年度繰越額					
	執行率 (%) (B/A)	97.3%				
予算の状況の説明	指名競争入札により、適正に執行した。予算残額は入札残。					

活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)	達成状況			
		28年度	29年度	30年度	31年度
		デジタル教科書整備 中学校:23本	目標 (100%)	()	()
	実績	100%			
	目標	()	()	()	()
	実績				
達成状況説明	町内中学校へデジタル教科書(23本:国語、書写、社会、数学、理科、音楽、美術、技術・家庭、英語)を整備した。				

成果目標(指標)及び進捗状況	H28成果目標(指標)	基準値(年度)	28年度	29年度	30年度	目標値(年度)	
		学校評価における児童生徒の評価で、授業の楽しさや分かりやすさについての評価項目で「評価3以上」(4段階評価)	目標 ()	(3)	()	()	()
			実績	3.3			
			目標	()	()	()	()
	実績						
進捗状況説明	デジタル教科書の活用により、わかりやすい授業が展開された。						

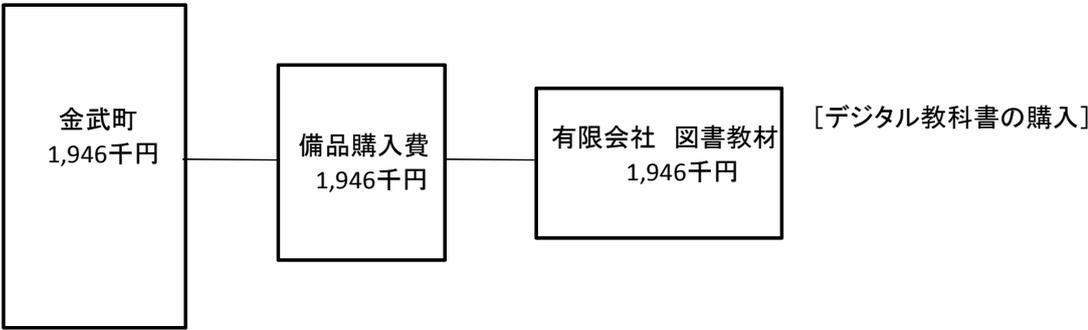
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	人事異動等で本町に来られた教員への操作等のサポート体制が必要である。	デジタル教科書の効果的な活用方法等を情報共有し、わかりやすい授業づくりに取り組む。

今後の取り組み方針

操作等のサポートが必要な教員への研修等を早い時期に行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
1,946	1,946	1,556	390	0



資金の流 れ、費 目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○一般競争入札により業者を選定しており、妥当であったと考えている。 ○不用額は事業費の3%以内であり適正な規模であった。 ○事業目的達成のため必要なものに限定しており適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		金武町					
平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-① 金武町青年海外派遣事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-4-(1)-ア		
	担当部署名	企画課	事業実施(予定)年度	平成24~33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	世界と共生する社会の形成 III-7	
事業内容	本町と海外移住国との友好親善関係及び人材育成の推進に資することを目的に、金武町の青年2人を南米等に派遣する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	1,967	1,980	1,453	1,469	1,555
		(b) 予算現額	1,967	1,980	1,469	1,555	1,580
		(c) 増減額 (b-a)	0	0	16	86	25
		(d) 繰越額	-	-	-	-	-
	A. 計 (b+d)		1,967	1,980	1,469	1,555	1,580
	B. 執行済額		1,967	1,454	1,469	1,580	1,580
	うち交付金充当額		1,573	1,162	1,175	1,244	1,264
	次年度繰越額		-	-	-	-	-
	執行率 (%) (B/A)		100.0%	73.4%	100.0%	101.6%	100.0%
予算の状況の説明		移住国5カ国へ研修生2名を派遣し、予定していた事業内容を全て執行することができた。予算増については、旅費及び航空券の精算払のための増である。					
活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)		達成状況				
	派遣人数	目標	(2人)	(2人)	(2人)	(2人)	
		実績	2人	2人	2人	2人	
	帰国後報告会	目標	-	(1回)	(1回)	(1回)	
		実績	-	1回	1回	1回	
	達成状況説明	ブラジル・アルゼンチン・ポリビア・ペルー・アメリカ(ロサンゼルス)の5ヶ国に青年2人を派遣し、海外移住国の町人会との交流を通じて移民の歴史を学び、異文化を体験することにより、友好親善関係及び人材育成の推進に資することができた。金武町青年海外派遣事業報告会において、研修成果を報告する事ができた。					
成果目標(指標)及び進捗状況	H28成果目標(指標)		基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	28年度
	(派遣者へのアンケート) 派遣後、移民史や移住国の沖縄人の生活に興味を持った。	目標	()	()	()	(100%)	(100%)
		実績				100%	100%
	(派遣者へのアンケート) 派遣後、自分のコミュニケーション能力が高まったと思う。	目標	()	()	()	(70%)	(70%)
		実績				66.6%	100%
	(報告会参加者へのアンケート) 移民史や移住国の沖縄人の生活に興味を持った。	目標	()	()	()	(70%)	(70%)
		実績				83%	70%
	(報告会参加者へのアンケート) 当該事業に参加したいと思う。	目標	()	()	()	(70%)	(70%)
実績					52.7%	56%	
進捗状況説明	金武町青年海外派遣事業研修生報告会において、研修生及び報告会参加者へのアンケートを実施し、事業の成果及び報告会参加者の意識調査を実施した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>町人会の高齢化や町人会の世代交代等により、案内や日本語等による対応等、研修生の受け入れが課題となってくることが想定される。</p> <p>1カ国あたりの訪問日数が短いことから、受け入れ町人会から研修内容を充実させるためにも期間を延長できないかと要望があった。</p> <p>当該事業への参加について、目標が達成できていない。</p>	<p>町人会との情報交換を密に行い、研修の必要性や双方向の交流をおして受け入れできる環境を整えていく。また、派遣される研修生の語学研修についても検討する。</p> <p>町人会と、日程調整を行い、研修内容について要望等を踏まえた上で調整を行い研修期間について検討を行う。</p> <p>報告会へ参加した人が、参加したいと感じる研修内容の検討及び、研修報告の方法等について検討する。</p>

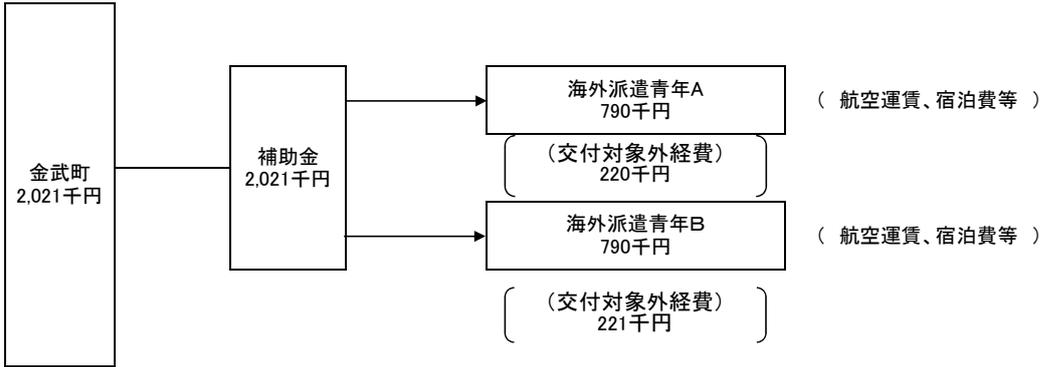
今後の取り組み方針

派遣事業で移住国を訪問することにより、多くの移住国の町人会との交流を図ることができた。本町では、移住国からの研修生を受け入れており、双方向の交流を通して、今後も、移住国との交流の架け橋となる人材育成に努める。

研修内容については、研修生目標に基づいて町人会と調整を行い研修内容を作成し、多くの人が参加したい研修プログラムとなるよう検討する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
2,021	1,580	1,264	316	441



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○研修生選考については、面接を行い決定しており妥当であったと考えている。</p> <p>○予算規模については、研修生を5ヶ国に派遣し事業を実施するために適正な規模であったと考えている。</p> <p>○用途については、事業目的に即した必要な費用であったと判断し交付している。</p>
	○	予算規模は事業内容に合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	金武町
------	-----

平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	5-② シマヌチュ国際交流関係事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-4-(1)-ア
担当部署名	企画課	事業実施(予定)年度	平成28年度
		沖縄振興基本方針該当箇所	III-7

事業内容	本町と移住地とのネットワークを拡大発展させ、地域の伝統や琉球舞踊等の文化交流等、あらゆる分野で持続的な交流を促進し、人材育成及び相互の発展を目指す。
------	--

実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()
------	---

		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況					
	(a) 当初予算額	3,475				
	(b) 予算現額	3,394				
	(c) 増減額 (b-a)	▲ 81				
	(d) 繰越額	—				
	A. 計 (b+d)	3,394				
	B. 執行済額	3,394				
	うち交付金充当額	2,719				
	次年度繰越額	—				
	執行率 (%) (B/A)	100.0%				
予算の状況の説明	移住国から町人会を招待して、シマヌチュ交流会を開催し地域住民との交流を図ることができ、予定していた事業内容を全て執行することができた。不用額の減については、特別招待者の人数が1名減になったことと、航空券の実費精算で支払いをしたが、見積額との差額によるものである。					

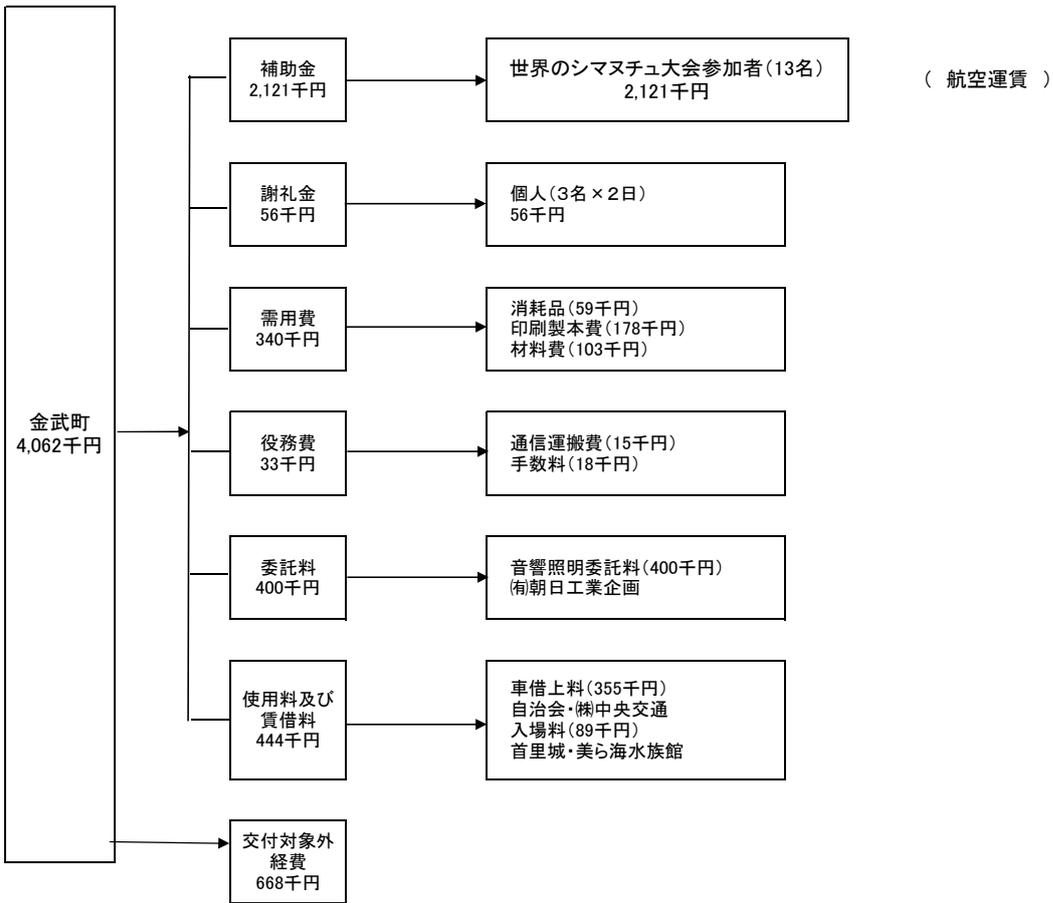
活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)	達成状況				
			28年度	29年度	30年度	31年度
		シマヌチュ交流会	目標 (1回)			
		実績 1回				
	目標					
	実績					
達成状況説明	第6回目の開催となる世界のシマヌチュ大会に、移住国で活躍する金武町人会会員を招待する事ができた。特別招待者は14名を予定していたが、カナダ町人会については、会員の高齢化等により、来町が難しい状況であったため1名の参加となったため目標を達成できなかった。 地域住民及び親戚等との交流を図り、情報交換を行うことにより継続的な交流を行う事ができた。 地域の子供たち等による、琉球舞踊、エイサー、移民関連の公演等の国際交流関連事業の実施により、移住国における地域の伝統芸能の普及等に貢献できた。					

成果目標(指標)及び進捗状況	H28成果目標(指標)	基準値(年度)	28年度	29年度	30年度	目標値(年度)
		移住地で活躍する金武町人会との交流により、金武町と各国町人会との絆を深める事ができた。	()	(80%)	()	()
		実績	100%			
	シマヌチュが沖縄を思う気持ちを感じる事ができた。	()	(70%)	()	()	()
		実績	92%			
		目標	()	()	()	()
	実績					
進捗状況説明	シマヌチュ大会に移住国で活躍する金武町人会会員を招待し、移住国における町人会の活動状況について地域住民と情報交換できたことと、移住国で活躍する町人会の人々がふるさとを思う気持ちを感じる事ができた。また、特別招待者の他に約100名の参加者により、地域住民及び親戚等との交流を図る事ができ、金武町と各国町人会との絆を深める事ができた。 国際交流関連事業を通して、當山久三の顕彰式や、琉球舞踊、エイサー、移民関連の公演等地域の伝統芸能を実際に感じることで、シマヌチュは自己のルーツを感じる事ができ、帰国後の町人会における活動を担う人材育成に貢献できた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>ウチナーンチュ大会の日程により、参加できなかった町人会から開催時期の検討について要望があった。</p> <p>移住国の町人会会員の高齢化により、参加できない等の状況があった。</p> <p>町人会から、一部のシマヌチュに対してシマヌチュ大会の開催について告知が行き届いておらず参加できなかったとの声があった。</p> <p>移住国からの参加者について、町民への周知の方法等の検討が必要。</p>	<p>ウチナーンチュ大会開催時期について、町人会も含めて事前に検討する。</p> <p>町人会の高齢化などにより、参加できる対象者が4世、5世などに変化してきている。改めて移住国との交流のあり方を双方で検討し、町人会に貢献できる人材育成も兼ねて、特別招待者を選考する必要がある。</p> <p>町人会に参加していない、金武町出身者については、シマヌチュ大会の開催の情報が届いていないことから、告知の方法や期間を工夫することで、多くの町出身者が参加できるようになる。</p> <p>町民との交流について、移住国から誰が参加するのか親戚や同級生等への事前の周知等について行う事により、多くの人と交流が可能となる。</p>
今後の取り組み方針		
<p>5年に1度開催される、世界のシマヌチュ大会では、多くの地域住民と移住国で活躍している町人会員が交流を通して、地域の伝統芸能や文化、移住国における生活等の情報交換を行う事ができることから、大会の告知や、参加者情報について早期に情報提供ができるように、町人会との連携を図る。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
4,062	3,394	2,719	675	668



資金の 用途の 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○特別招待者の選考については、積極的に町人会活動している事を条件に町会長の推薦により決定していることから妥当であった。</p> <p>○予算規模については、特別招待者を招待しシマヌチュとの交流事業を実施するために適正な規模であったと。</p> <p>○受益者負担については、航空運賃以外の宿泊費や食事等自己負担となっていることから、適正であった。</p> <p>○使途については、事業目的に即した必要な費用であった。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	金武町						
平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-①	沖縄特殊戸籍等電子化事業	沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-2-(5)-(イ)			
担当部課名	住民生活課	事業実施 (予定)年度	平成28年	沖縄振興基本方針 該当箇所	戦後処理問題の解決 III-12		
事業内容	沖縄戦で多くの戸籍が焼失した。そのため政府が作成した特殊戸籍があるが、劣化が激しいため電子化する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	9,245				
		(b) 予算現額	8,230				
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 1,015				
		(d) 繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	8,230				
	B. 執行済額		8,230				
	うち交付金充当額						
	次年度繰越額						
	執行率 (%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		予算増減額は、当初想定した電子化の枚数と実際に電子化した枚数の差に基づく業務委託料減額の変更契約により生じたものである。当初計画していた事業内容は全て実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	H28活動目標(指標)		達成状況				
			28年度	29年度	30年度	31年度	
	沖縄特殊戸籍等の電子データ化	目標	(完了)	()	()	()	
		実績	完了				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	対象となる沖縄関係戸籍のすべての電子化を実施した。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H28成果目標(指標)		基準値 (年度)	28年度	29年度	30年度	目標値 (年度)
	沖縄特殊戸籍等の電子データ化完了	目標	()	(完了)	()	()	()
		実績		完了			
	【参考指標】		目標	()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明	沖縄関係戸籍の電子化により、劣化、毀損、滅失の危険性を回避。電子データ化及び見出しデータの検索機能により証明発行までの時間が短縮され、事務の効率化可能となり、平成29年2月23日よりシステムを本稼働。					

市町村名	金武町						
平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	7-① スポーツ施設機能高度化事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-イ		
担当部署名	社会教育課	事業実施(予定)年度	平成27~28年度	沖縄振興基本方針該当箇所	災害に強い県土づくりと防災体制の強化		
事業内容	災害時避難所としての防災機能強化や各種競技大会、合宿等の受け入れ促進のためスポーツ施設の機能強化を図る。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
	(a) 当初予算額	3,327	107,230				
	(b) 予算現額	2,592	99,047				
	(c) 増減額 (b-a)	▲ 735	▲ 8,183				
	(d) 繰越額	—	—				
	A. 計 (b+d)	2,592	99,047				
	B. 執行済額	2,592	99,047				
	うち交付金充当額	2,073	79,237				
	次年度繰越額	—	0				
	執行率 (%) (B/A)	100.0%	100.0%				
予算の状況の説明	予定していた事業を全て実施することが出来た。減額分については入札差金である。						
活動目標(指標)及び達成状況	H28活動目標(指標)	達成状況					
			27年度	28年度	29年度	30年度	
	屋根の防災機能強化および屋根の改修に伴う照度確保(LED)工事の実施	目標	(実施設計)	(実施)	()	()	
		実績	実施設計	実施			
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	屋根の設置工事及び照明設備のLED化、換気設備の設置等、施設機能高度化に向けた工事を実施。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H28成果目標(指標)	基準値(年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(年度)	
	施設機能高度化工事 完了	目標	()	(実施設計)	(完了)	()	()
		実績		実施設計	完了		
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	屋根の設置工事及び照明設備のLED化、換気設備の設置等、施設機能高度化に向けた工事が完了した。					

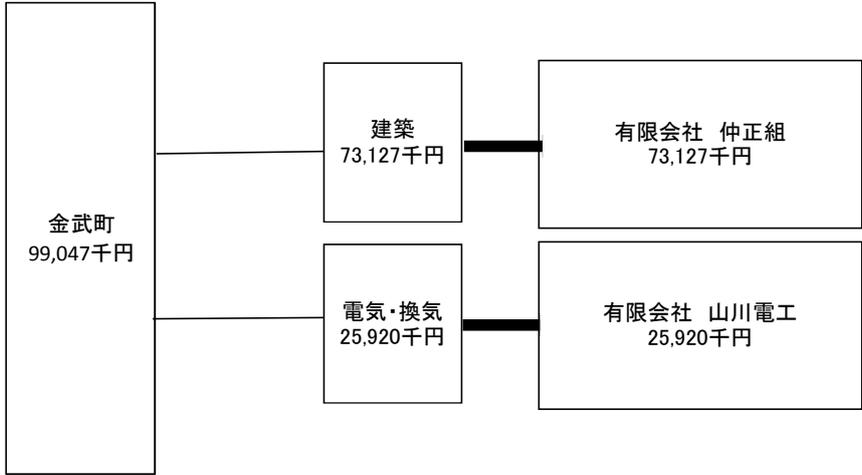
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	金武町立体育館は本町の災害時避難所として指定されているが、自然採光のために設置しているプラスチックパネルから雨漏りがあるなど、避難所としての機能を損ねているため、災害時避難所としての防災機能の強化を図ることを目的に、平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業を活用して施設機能高度化に向けた実施設計を行い、平成28年度に工事を実施した。	機能高度化したことに伴い、更なる大会の受入や利用率向上に取り組む。

今後の取り組み方針

災害時避難所として災害時には避難者の受入を図る。また、雨漏りの改善や照明設備をLED化したことに伴い、大会や合宿等の受入をこれまで以上に積極的にを行い、利用率の向上を図る。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
99,047	99,047	79,237	19,810	



資金の流 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○工事請負業者は、指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。 ○予算規模は事業内容に見合った適正な額と考えている。 ○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものだった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	